

電気幹線及び共用灯 改修工事の進捗2

施設管理部 佐藤 健次



《発行所》
若葉台
第一住宅管理組合
坂戸市千代田4丁目7番30号
電話 049-283-7950
メール: kanri@wakaba1.com
http://www.wakaba1.com/



各棟電気幹線の太線化、住戸内分電盤の更新、階段室照明や団地内の外灯(防犯灯)LED化等の電気工事が昨年から開始されております。

先月末(1月)までに、約7割の棟の工事が完了しており、1号棟、9号棟、25号棟、テラスハウス、14階建て高層3棟の計11棟を残すのみとなりました。

また、外灯の更新工事も3/4を終了しています。

今後、未終了箇所とポンプ室照明更新等その他の電気工事を含め、5月までに完了する予定です。

本工事は当団地の中長期営繕計画に基づくもので、組合公募による修繕委員会にて一昨年の基本計画及び昨年度の実施設計を審議検討し、昨年5月の総会決議を経て、6月1日に管理組合がJSへ工事発注したものです。

ちなみに、この電気工事の契約書の厚みは、広辞苑のような分厚さとなり、本工事の内容の多さを実感させるものでした。さて、今回の工事では、本来は組合員の皆様の専有部設備である玄関内の住戸分電盤の更新も行いました。

居住者向け工事説明会(参加率40%)において、この住戸分電盤の説明もされていますが、不参加の方々もおられますので、いくつか特長等をご説明いたします。

まず、従来の単相二線式(100V専用)から100V200Vの両方を使用できる単相三線式の盤になりました。(実際に200Vを使用するには電気工事店による屋内電気工事が必要です。)

次に、感震リレー(震度5強以上で電気を遮断)と漏電ブレーカ(漏電火災等を防ぐ為に電気を遮

断)が追加されました。

また、従来は分電盤内に設けられていたアンペアブレーカ(契約アンペアを超えて電気を使い過ぎた時に落ちる大きいブレーカ)が無くなり、今後は階段室の配線配管スペース内に設置された東京電力の新型の電気メータ(スマートメータ)がその役割を果たします。

電気を使い過ぎた場合は、スマートメータが一旦電気を遮断(停電)しますが、自動的に復旧(復電)してくれます。

しかし、電気の使い過ぎの状態をそのまま続けると、停電と10秒後の復電を繰り返して、これが30分間に約10回続いた場合は事故防止のために電気を遮断するそうです。

その場合の電気の復旧依頼先は、東京電力カスタマーセンター(0120-9951007)です。

万一に備え、携帯電話への登録をお勧めします。工事完了後は、契約容量UP(50Aまで)や200VIHヒーター設置工事なども可能となります。是非、ご活用ください。



Eブロックスロープ部手すり



Eブロック エントランス天井補修



週に1回、2時間の工程会議



Aブロック完成検査



ゴミ置場塗装風景



Eブロック用集合住宅変圧器盤



集合住宅変圧器盤設置風景



東京電力架空線接続作業



Dブロック共用灯。明るくなった!!



Eブロック 工事説明会



Cブロックピロティ部分現場調査



Eブロック共用灯(左:新 右:旧)

フリーマーケットを終えて コミュニティ部部長 高野一男

気持ちいい秋晴れの下、それはオープンした。11月3日文化の日に集会所前広場にてフリーマーケットが行われた。それぞれ思い思いに品物を展示し、衣類・食器・書籍・雑貨・野菜・食品などが並べられている。

今回は本部を含めて9店舗の出店となり、10時を過ぎていた品物を買ってあげていった。掘り出し物お徳用の物などを売り切れてしまう前にゲットしようという活気づく。

本部では今回初めて大



学芋と焼き芋を販売し、大学芋は大変好評であったという間に完売となり、後から来たお客様は他を見てから来たらなくなつてしまったと残念がっていました。焼き芋は、準備段階で適当な薪がなく、担当者は苦労したようだが、こちら

も完売しました。広場のスペース的にはまだ店舗数も増やせそうです。自宅で眠っている不必要なもの、家宝など出店し有効活用してみませんか？

自分だけでなく友人・知人で共同出店しているいろいろな人たちとコミュニケーションを取ったり、お茶を飲みながらの店番などを楽しんでみてはいかがでしょう。来年もお待ちしております。

秋の美化清掃
コミュニティ部
高山静江

11月始めとしては、北風の吹く寒い朝にもかかわらず、一般の方々も多数参加、協力してくださりました。特に千代田公園側の道路は、枯葉がたくさんあり、いくら落ち葉を掃いても、次から次へと落ちてきて、私たちが枯葉に遊ばれている様でした。集めた枯葉は、畑の肥料として利用することので、沢山の袋が並びました。作業を始める前は『もう一枚着て来ればよかったな』と思いましたが、



夢中で作業をしているうちに、体が温まり汗ばんでいました。掃き終わった後から枯葉が落ちてきて、多少の虚しさを感じながらも、綺麗にするこの達成感を感じられた美化清掃となりました。

防災体験学習会に参加して 櫻井砂登子

私も、若葉台団地に来て2年が過ぎ、今回の防災センター見学をいい機会と思い、夫婦で参加致しました。

10月8日(日)、快晴の中、50名近くの人々とセンター目指して出発です。災害は突然襲ってくるもの。災害は人任せではなく、自分達で対応するというのが心構えが大切だ。防災センターでは、煙・地震・暴風・消火の体験を通して、日頃の備えがいかに大切かを学んできました。

まず地震は阪神・東日本大震災の2例を体験。実際の揺れの凄さは、恐ろしいほどパニックになりそうです。

消火器訓練は、火元にめがけて正確に噴射するものでした。皆さんは消火器の噴射時間をおわりますか？1分間くらいと考えている人が多いようですが、たったの15秒だそうです。その為にも火が出たら大声で『火事だ』と、近くににいる人に知らせることだそうです。

暴風に関しては、外に出ず家の中で静かにしているのがいいそうです。

以上、大災害の時は、自分を守り、家族を助け近所同士で協力し合うことが、防災の原点だと思います。余談ですが、水族館で童心にかえり、鯉にえさをあげ、色とりどりに咲き乱れた満開のコスモスに心奪われたりと、楽しい体験学習会でした。役員の皆様方、有難うございました。

年末大掃除を終えて 石井貴敏

去る12月2日に年末大掃除が行われました。晴天にも恵まれ、冬の寒さはあったものの、無事行うことが出来たのではないかと思います。その中で、自転車回収作業に参加した時に感じた事を書こうと思います。以前より、何となくは感づいてはいたものの、改めて団



地を廻ってみて、大人用・子供用に関わらず、自転車の台数が全体的に少なくなっていることに驚きを感じました。

私も現在は自転車を利用することが無くなり所



有していませんが、当団地の時代というか、世代の移り変わりを感じた1日になりました。



くどかへこの世はく

23-305 笑門来福

マイク握りしめて蛩声張り上げるもよし、コップ片手に他愛のない与太話に太鼓腹を振って笑うもよし。

昔から「笑いは百薬の長」とかいわれ、江戸や上方では笑いの文化が発展していったようです。

先日、関係者の方々の尽力で真打の柳谷さん八師匠をお招きし、若葉寄席が開かれました。

さん八師匠は三年越し二度目の来訪で、立錫の余地も無い満座の中、聴衆の耳目を一身に集め、俄か作りの軋む高座もなんのその、笑いを誘う演芸が寄席では返す波のように繰り広げられたのです。

休憩を挟んで二話目が終わり、人々は名残惜しげに席を離れました。入ってきた時より、終わって帰る時の方が表情に明るさが宿っているのではと思つたのも、私だけではありません。次の若葉寄席が待ち遠しいと思うのも無理はありません。伊達や酔狂の

芸歴五十年ではありませんでした。さん八師匠にはご精進いただき、再度の来訪を一同お待ちしております。その時分には入れ歯も慣れるでしょう。固い香の物でも粗肴に添えて置きましょう。



植栽協力員の研修旅行に参加して

瀬尾武男

植栽部長の中村さんと副部長の菅野さんの幹事のもと、10月29日、30日と二泊二日で茨城の大洗方面に女性2人を含む21名で大型台風15号が迫る大雨の中、ホテルの送迎バスにて団地を出発しました。バスの中では、

植栽に必要な知識(?)を補うため吉澤会長が考案したテストが出題され、難読の樹木名やその他樹木等の問題にチャレンジ。百点満点の人には豪華な賞品(?)が配られました。水戸の偕楽園の樹木見学は、雨のために残念ながら中止。イエローボートは昼食をとる。その後大洗水族館を経て、16時ごろホテルに到着。風呂・宴会・カラオケ等、

思い思いに過ごし就寝。翌日は台風一過の晴天海岸線で集合写真をパチリ。その後、研修予定の地、大洗磯前神社へ。関東ではめずらしいかやぶき屋根の本堂があり、歴史的建造物大國主命が降臨したとか。海鮮問屋に寄り、旨い海の幸の土産を両手いっぱいにし、帰

路につきました。和気藹々と親睦を深め、楽しい研修旅行となりました。幹事の方々に感謝。



和気藹々と親睦を深め、楽しい研修旅行となりました。幹事の方々に感謝。



バスの中でもこんなに楽しそう♪



初日の昼食★イエローボートにて!



初日の昼食★豪華ですね!

ソフトボール大会 やっただぜ!! 準優勝

11月26日体協千代田支部支部ソフトボール大会に、若葉台スポーツ文化部チームとして参加しました。

晩秋の素晴らしい青空の下、6チームの精鋭が集まり、3チーム2組による予選リーグ、勝利チームによる決勝戦が行われました。なんと我がチームは予選リーグを予想通り?に17対3、10対5と昨年優勝チームをも破る快進撃。勢いに乗って関間チームが待つ決勝戦に挑みました。関間チームは20代、40代のユニフォーム姿のソフトボール現役チーム。一方、我がチームはいわゆるシニア世代が半分、30代及び女性を含む老若男女混成チームです。結果は3対14の惜敗、残念ながら準優勝となりました。でも、戦い方は見事で、エースは女性でコントロールが良く、相手の若い男性バッターも力が入りキリキリ舞。若手はパワーで圧倒、ベテランは体力を技術で補い、応



29号棟 菅

援団は間違いない今大会一番の協力者、若いチームリーダーの下、全員のチームワークでの準優勝でした。
来年こそは優勝目指して頑張りたいと思います。是非皆さんの選手・応援団としての参加をお願いします。大いに楽しんで一日でした。

第1回わかばランドゴルフ 大会開催にあたって

11月24日(金)に、約40名の参加においてランドゴルフ大会がテニスコート及び団地内の公園などで開催されました。

当日は天気も良く、皆さん元気にプレーをしておりましたが、初めての方が多く最初のうちはなかなか出来ない方も、プレーをして慣れてくるうちに巧くプレーできるようになり、皆さん楽しんでる様でした。大会終了後は、集会所にて表彰式があり、入賞された方は喜び、入賞されなかった方は残念がっておりましたが、大会を通じて団地の住民の方と交流を深めた楽しい一日でした。また来年も予定しておりますので、興味のある方は参加してみませんか?最後に、参加された皆さん、実行委員の皆さん、協力ありがとうございました。
ランドゴルフについて、少し説明致します。昭和57年に鳥取県東伯郡泊村生涯スポーツ活動推進事業の一つとして泊村



12号棟 三瓶 博

教育委員会が中心となり考案されました。ランドゴルフと名付けられたのが、ゴルフ場に行かなくても地域の屋外グラウンドで出来るスポーツをイメージし、『いつでも』『どこでも』『だれでも』出来るスポーツを目指したからです。子供から高齢者まで出来る、ファミリースポーツです。

巣箱

10月のある日、団地内2箇所の木に巣箱を設置しました。



かわいい小鳥たちがうまく巣箱を見つけてくれて、自分の住み家にしてくれるといいですね。大人から子供まで、みんな

がニコニコしながら眺めている姿を見たいです。
①石山公園16号棟側
②8号棟横藤柵隣の楠
広報部

団地がかわった!

福本 稀咲 (五年生)

今年度の団地は、以前に比べてすごく変化しています。昨年度まで遊んでいたバレーコートが使えなくなりました。残念な気持ちでいっぱいでしたが、ここ最近色々な棟の照明が変わって、夜の団地内も明るくなり、見てうれしい気持ちになりました。

他にも、14階建てのスロープに手すりが付いたり、号棟の表示がかっこよく変わったり、新鮮な気持ちです。



電気や建築工事が行われてから、自分が楽しく遊びたいことよりも、団地に住む人達が毎日明るく元気に過ごすことを優先することが、何よりも大事なことなんだと実感しました。



外灯もきれいな蛍光